

平成 25 年人口動態統計調査結果の概要（大阪府分）

- 厚生労働省公表資料より -

大阪府総務部統計課 情報・分析グループ

《 詳細は厚生労働省ホームページに掲載しています。 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei13/index.html> 》

平成 26 年 9 月 11 日に、平成 25 年人口動態統計（確定数）の結果が、厚生労働省から公表されました。その中から、大阪府分の概要を紹介します。

1 人口動態統計調査について

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されている「人口動態統計調査」は、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により市区町村に届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。市区町村から保健所、都道府県を経由して、厚生労働省でデータをとりとめています。

2 結果の概要

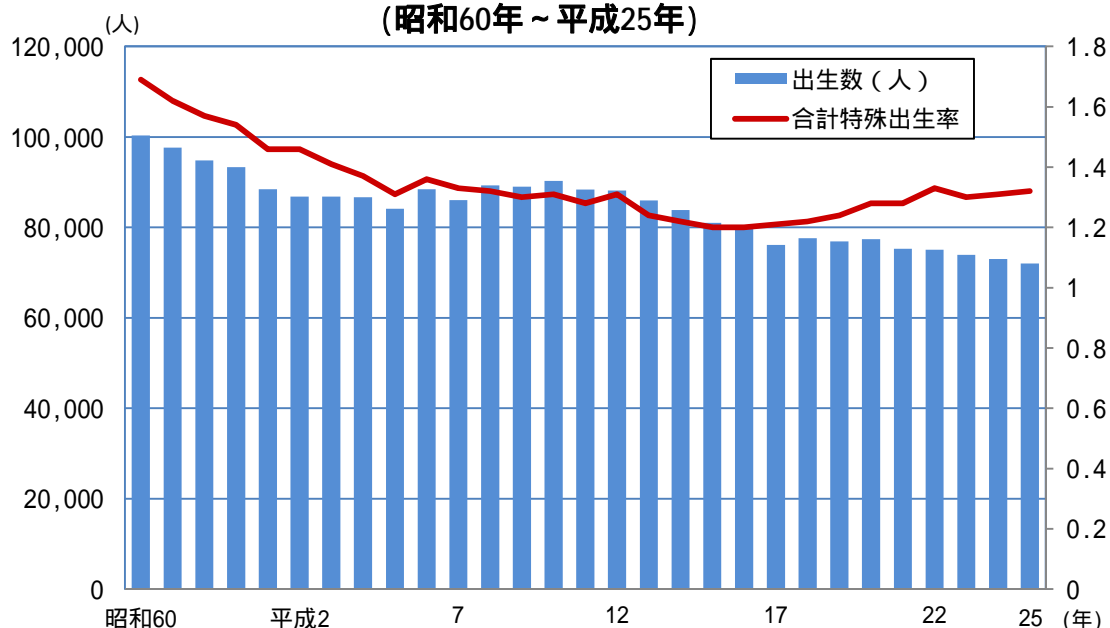
(1) 出生数は減少

大阪府の平成 25 年の出生総数は 7 万 2,054 人であり、前年（7 万 3,012 人）と比べて 958 人減少しています。平成 10 年（9 万 324 人）から、ゆるやかな減少傾向が続いています。

一方、合計特殊出生率（15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの）は平成 25 年で 1.32 であり、前年の 1.31 から微増しています。最も合計特殊出生率が低かった平成 15、16 年の 1.20 と比べると、わずかながら改善しています。しかしながら、この数値は、全国平均（1.43）よりも低くなっており、都道府県別では 42 位（最高：沖縄県 1.94、最低：東京都 1.13）となります。

大阪府の出生数と出生率の推移

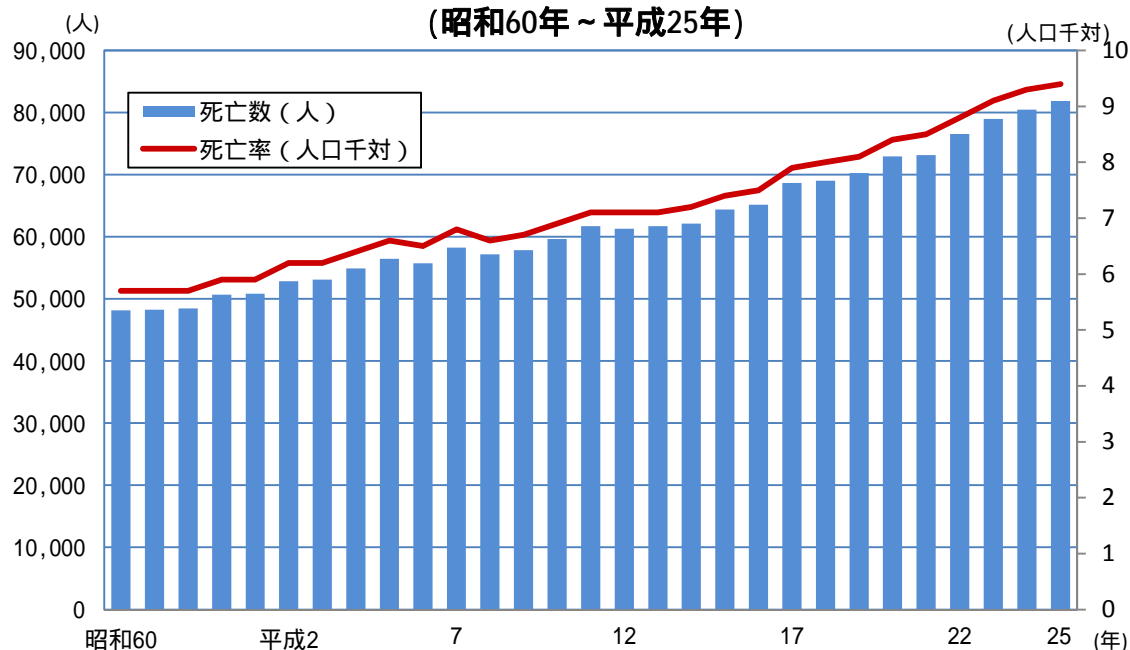
（昭和60年～平成25年）



(2)死亡数は増加

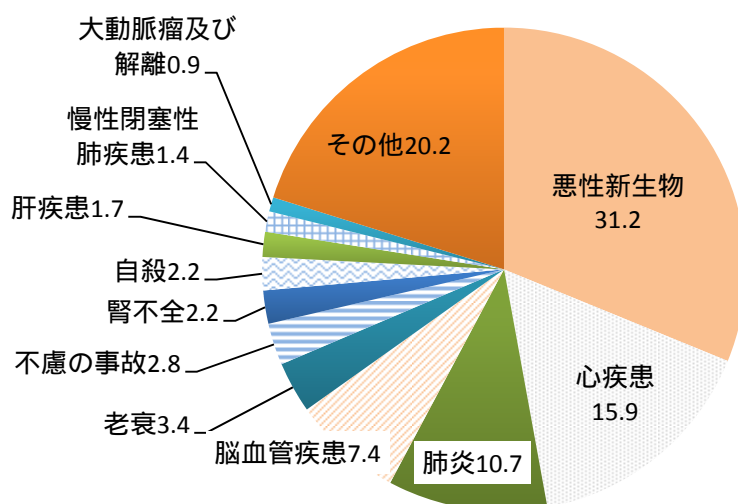
大阪府の平成 25 年の死亡総数は 8 万 1,864 人であり、前年（ 8 万 472 人）と比べて 1,392 人増加し、死亡率（人口千人に対する死亡数の割合）は 9.4 で前年の 9.3 を上回りました。死亡数、死亡率ともに増加傾向が続いています。

大阪府の死亡数と死亡率の推移 (昭和60年～平成25年)



また、死因別では、「悪性新生物」が最も多く、全死亡数に占める割合は 31.2%となっています。次いで「心疾患」(15.9%)「肺炎」(10.7%)となっています。死亡者のおよそ 3 人に 1 人は悪性新生物で死亡しています。

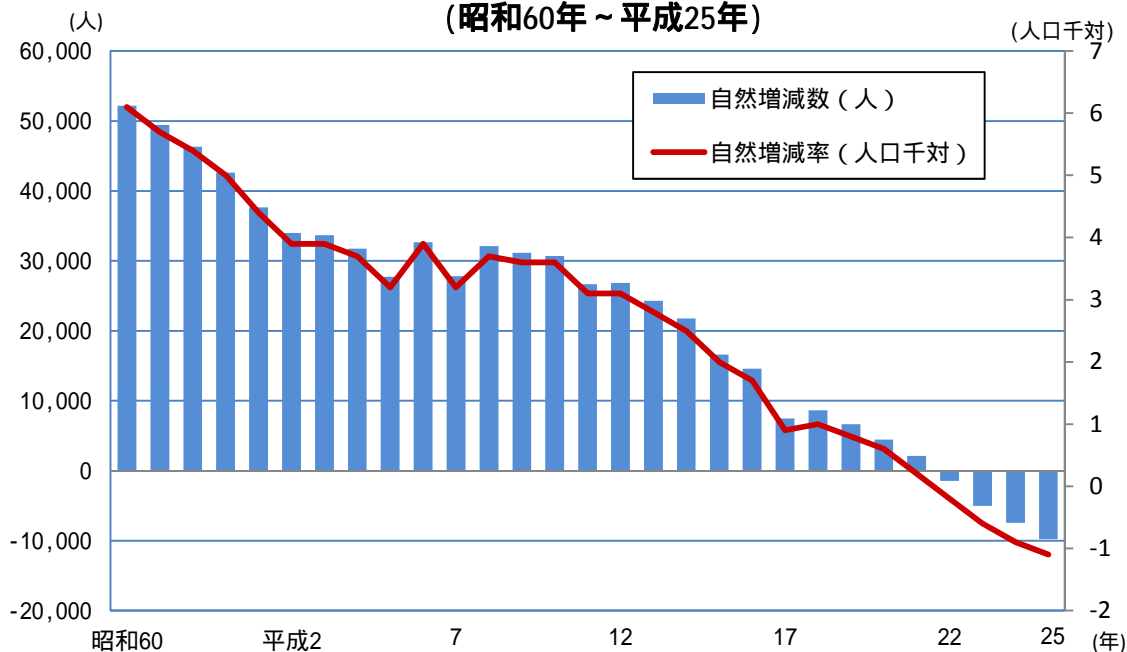
死因別の死亡数(平成25年、%)



(3) 自然増減数は減少

大阪府の平成 25 年の出生数と死亡数の差である自然増減数は -9,805 人で、前年の -7,460 人より 2,345 人減少しています。自然増減数は減少傾向にあり、平成 22 年から自然減の状態が続いています。

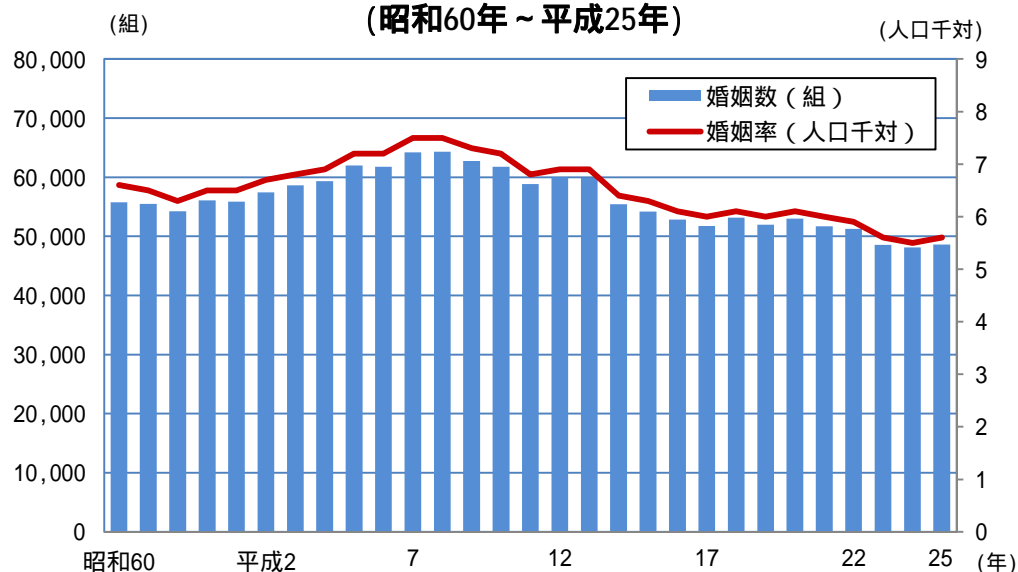
大阪府の自然増減数と自然増減率の推移 (昭和60年～平成25年)



(4) 婚姻件数は増加

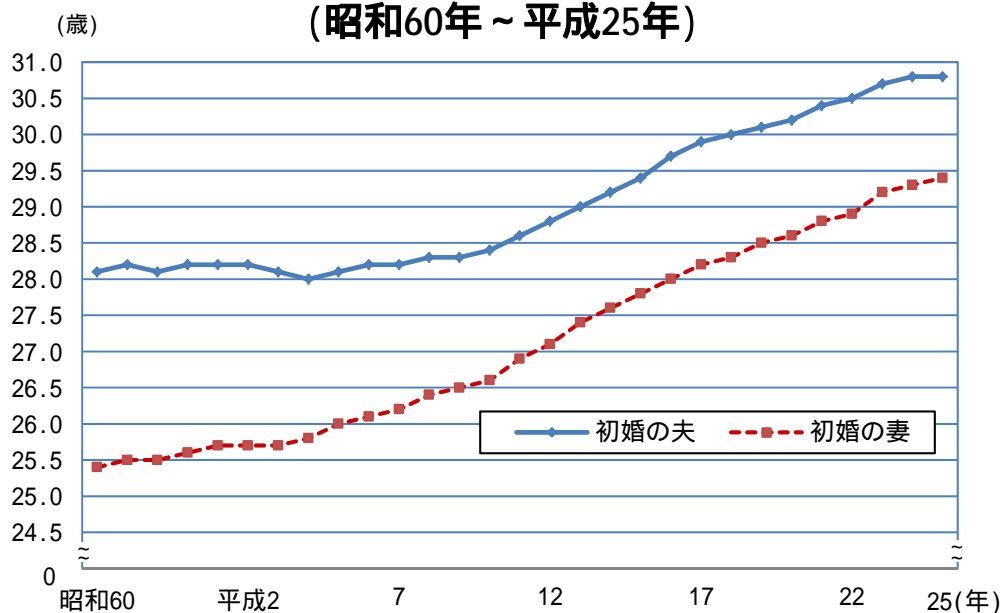
大阪府の平成 25 年の婚姻件数は 4 万 8,596 組であり、前年 (4 万 8,114 組) と比べて 482 組増加し、婚姻率 (人口千人に対する婚姻数の割合) は、5.6 で前年より 0.1 ポイント増加しています。

大阪府の婚姻数と婚姻率の推移 (昭和60年～平成25年)



また、平均初婚年齢は、夫 30.8 歳、妻 29.4 歳となっています。夫・妻ともに平均初婚年齢は上昇傾向が続いています。

大阪府の平均初婚年齢の推移 (昭和60年～平成25年)



(5) 離婚件数は減少

大阪府の平成 25 年の離婚件数は 1 万 8,104 組であり、前年 (1 万 8,761 組) と比べて 657 組減少しています。離婚率 (人口千人に対する離婚数の割合) は、2.08 で前年より 0.08 ポイント減少しています。離婚数、離婚率ともに平成 14 年の 2 万 4,808 組、2.87 から減少傾向が続いています。

大阪府の離婚数と離婚率の推移 (昭和60年～平成25年)

